

療育研修会実施状況

兵庫支部

参加数 30名

テーマ ◆重度身体障害者の生活支援
について

◆人工呼吸器常時使用者の
自立生活の実践について

◆在宅就労の実践
について

講師 近畿福祉大
学准教授 泉 妙子

在宅患者 有田 正行

在宅患者 金村 和美

実施場所 上野ヶ原社会訓練センター



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

自立生活、在宅就労は重度身体障害者の私にとって夢のようなこと

でした。今回の研修会で実践されている方々の話しを聞き私にと

出来る様子が気になってきました。又生活支援についての話しも身近に

感じ希望を持ってました。今度は早速にこめられたの参加でいい

か、大至の勇気と力をいただいたことに感謝しています。

これから自分から行動で参加したいと思っています。

※ 写真は、日本財団に提出する事業完了報告書に添付いたしますので、
日本財団関係の書類に載る場合もあります。

※ 撮影の際は、参加者の方にご了承をいただくなどその点には注意してください。

療育研修会の内容を記入

1. 重度身体障害者の生活支援について。

筋ジストロフィー症の患者さんは、筋力低下により、今まで出来

ていた事に、自分で出来なくなっている。日常の生活で不便

を感じていた患者さんは、PC, ナスコーV, TVのON,

OFFの自助道具等のくるうにより、日々の生活に役立

っている。生活に合わせた創意工夫等を話してもらった。

2. 自立生活の実践

自立生活5年目の筋ジストロフィー患者さんが人工呼吸器をつけた

の生活に今は何の不安もなく楽しく生活している実践

の話を約30分ほど話していただいた。

3. 在宅就学の実践

大学院卒業後コンピュータ関係の会社に就職、電車

通勤、会社での行動、についてDVD画像を通り話され

た。